

① 事業内容・目的

(1) 親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会

【目的】ひきこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象とし、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催することで、将来に対する不安の解消ならびに生活の見通しを立てられるようになることを大きな目的としています。



(2) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催

【目的】ひきこもり当事者のご家族様向けにオープンダイアログの支援技法を用いた家族支援・交流会を用いることにより、家族内での対話やコミュニケーションについて再考し、実際の家庭の中で活用できるようになることを目的としています。

精神科医の齋藤環氏を中心に、原則毎月 1 回開催し、講義形式で行われる「理論編」と対話を中心とした「ワーク」を実施いたしました。



② 予想される事業実施効果

〈親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会〉

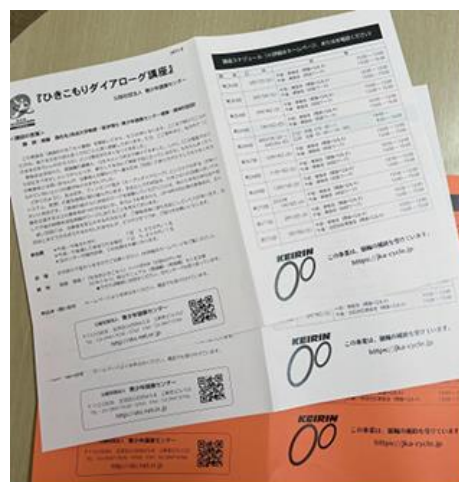
本事業では8050世代だけでなく、幅広い世代の方々からのご相談がございました。目の前の問題として迫っている家庭には、ひきこもり家庭の孤独死、生活困窮などの新たな問題の発生を止められることを期待でき、その他の方々には世代に応じた対処を今のうちにできることを再確認し、自身の生活状況を見つめ直すことで、家族の安心した老後生活だけでなく、当事者本人の生活に対しても肯定的な方向に進むものことを期待されます。

〈対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催〉

本講座を通じて家族内でのつながりを取り戻すことが期待でき、家庭内でひきこもり当事者が居場所を得ることができるようになると、次のステップとして、社会とのつながりを取り戻す段階へと移行しやすくなります。ひきこもり支援においてご家族が重要なキーパーソンであることが多く、自立に向けた動きが当事者・ご家族の間で良好な関係性を築くことは、その後の生活に大きな影響をもたらします。家族と当事者の関係はこれからも続くものと思われ、各段階においてどのように関わっていくかは状況によって異なりますが、本講座がそれぞれのケースについて各家庭に寄り添っていければと考えています。

③ 補助事業による成果物

④ (各講座チラシ：ライフプラン計 1,000部 ダイアログ講座 計 2,000部)



以上

公益社団法人青少年健康センター

会長 齋藤友紀雄

この度、令和 2 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

⑤ 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

⑥ 事業内容：

(1) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催

【目的】ひきこもり当事者のご家族様向けにオープンダイアログの支援技法を用いた家族支援・交流会を用いることにより、家族内での対話やコミュニケーションについて再考し、実際の家庭の中で活用できるようになることを目的としています。精神科医の齋藤環氏を中心に、原則毎月 1 回開催し、講義形式で行われる「理論編」と対話を中心とした「ワーク」を実施いたしました。

(2) 親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会

【目的】ひきこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象とし、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催することで、将来に対する不安の解消ならびに生活の見通しを立てられるようになることを大きな目的としています。各家庭向けの実践的なアドバイスを提示し、具体的な行動への指針となることを目指しています。

⑦ 補助金額： 270,719 円

⑧ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑨ 事業完了日：2021 年 3 月 17 日

以上

この度、平成 31 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

⑩ 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

⑪ 事業内容：

- (2) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、引きこもりダイアログ講座開催

【目的】引きこもり当事者のご家族様向けにオープンダイアログの支援技法を用いた家族支援・交流会を用いることにより、家族内での対話やコミュニケーションについて再考し、実際の家庭の中で活用できるようになることを目的としています。精神科医の齋藤環氏を中心に、原則毎月 1 回開催し、講義形式で行われる「理論編」と対話を中心とした「ワーク」を実施いたしました。

- (2) 親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会

【目的】引きこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象とし、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催することで、将来に対する不安の解消ならびに生活の見通しを立てられるようになることを大きな目的としています。各家庭向けの実践的なアドバイスを提示し、具体的な行動への指針となることを目指しています。

- (3) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

⑫ 補助金額： 1,278,420 円

⑬ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑭ 事業完了日：2020 年 3 月 28 日

以上

公益社団法人青少年健康センター  
会長 齋藤友紀雄

この度、平成 30 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 演劇活動・体験活動を用いた社会参加準備支援

【目的】演劇活動では発声練習や役を演じることにより、自分自身の対人コミュニケーションの特徴に気づく機会を増やし、体験活動を通して、様々な場面・関係性・活動から、自信・意欲を高め、将来行われるであろう、自立に向けてのレジリエンス（精神的回復力）を高める、就労・職場内での対人関係などを乗り越えられる地盤を築けられることを目的とする。

(2) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた家族支援及び交流会

【目的】引きこもり当事者のご家族様向けにオープンダイアログの支援技法を用いた家族支援・交流会を用いることにより、家族内での対話やコミュニケーションについて再考し、実際の家庭の中で活用できるようになることを目的としています。

精神科医の齋藤環氏を中心に、原則毎月 1 回開催し、講義形式で行われる「理論編」と対話を中心とした「ワーク」を実施いたしました。

(3) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

③ 補助金額： 1,278,000 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 31 年 3 月 31 日

以上

公益社団法人青少年健康センター  
会長 齋藤友紀雄

この度、平成 28 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(2) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(3) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

(4) 補助金額： 2,241,000 円

(5) 実施会場：公益社団法人青少年健康センター  
住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

(6) 事業完了日：平成 29 年 3 月 31 日

以上

この度、平成 27 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

(ア) 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

(イ) 事業内容：

(1) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(2) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(3) 思春期カウンセリング講座

【目的】引きこもりの若者の家族へ心理教育を行い、カウンセリングマインドを養い、引きこもり本人への対応を改善し、健全なコミュニケーションの確立・家族機能の回復を図ります。

(4) 講演会・シンポジウム・引きこもり対策講座開催事業

【目的】引きこもりの若者を抱える家族が本事業を通して、家族が社会につながるきっかけを提供し、家族自身が若者への理解、対応方法の改善、社会資源の知識を習得することで、引きこもりの若者の社会参加への下地をつくります。

(5) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

③ 補助金額： 3,503,940 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター  
住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 28 年 3 月 31 日

以上



この度、平成 26 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(2) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(3) 思春期カウンセリング講座

【目的】引きこもりの若者の家族へ心理教育を行い、カウンセリングマインドを養い、引きこもり本人への対応を改善し、健全なコミュニケーションの確立・家族機能の回復を図ります。

(4) 講演会・シンポジウム

【目的】引きこもりの若者を抱える家族が本事業を通して、最新の知識を知る機会を提供し、新たな支援に触れる機会を提供する。

③ 補助金額： 1,973,305 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 27 年 3 月 31 日

以上